

**「京都府生涯現役クリエイティブセンター広報・イベント企画提案等業務」
業務委託に関する質疑・回答**

2月17日回答分

番号	質 問	回 答
1	分野別研修の参加者数について、仕様書9（2）管理項目として設定されている「マインドセット研修」の目標数から150名（実数）を想定されていると理解してよいか。	お見込みのとおりである。
2	仕様書9（2）ク 高度・専門人材確保数の定義は何か。	高度・専門人材とは、これまでのキャリアから特定の分野・業務に対する専門的知識、経験を有する人材や、京都府生涯現役クリエイティブセンターの分野別研修等リカレント教育を受けた人材を指し、その人材を中小企業等の雇用に繋げた数をいう。

2月10日回答分

番号	質 問	回 答
1	募集要項第7（2）キ、第11（2）（3）記載の「参加申請書」とは何か	<p>募集要項第7（2）キ、について、以下のとおり訂正する。</p> <p>キ 参加申請<u>表明書</u>提出後に辞退する場合は、辞退届（様式6）を提出する。</p> <p>募集要項第11（2）（3）について、以下のとおり訂正する。</p> <p>(2) 参加申請<u>表明書</u>等を提出した後、企画提案書及び経費見積書の差替、訂正又は再提出をすることはできない。ただし、京都府から指示があった場合を除く。</p> <p>(3) 参加申請<u>表明書</u>等を提出した後、京都府が必要と認める場合は、追加書類の</p>

		提出を求めることができる。
2	仕様書4に記載のセンター業務時間について、土曜日の扱いはどうなるか。	仕様書4センター業務時間について、以下のとおり訂正する。 4センター業務時間 火曜日～金曜日：午前9時00分～午後7時00分 月曜日・土曜日：午前9時00分～午後5時00分 ※土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日から1月3日）は休みとする。ただし、緊急時等には、業務日の時間外、土曜日、日曜日、祝日、年末年始に対応を要する場合がある。
3	仕様書6（3）広報業務（ウ）研修予定に係るチラシ等の作成・広報について、分野別研修の広報のために年間で作成すべき広報物の種類数を示されたい。	分野別研修の広報のために作成すべき広報物は以下を予定している。 ・チラシ（A4サイズカラー両面）×2種類 ・シラバス（A4サイズカラー12ページ）×2種類
4	仕様書6（4）センター運営補助業務について、見積額算定のために分野別研修として予定している講座数、参加者数の予定や、必要となる会場確保数、講師謝金額を教示されたい。	分野別研修については4コース（1コースあたり5回、15人定員）×年2回実施を予定している。 なお、仕様書6（4）センター運営補助業務オ（ウ）、（カ）、（ク）に係る謝金、会場費については別途京都府において予算措置を行う予定であるため、本業務の見積額への算入は不要である。
5	仕様書7センターの人員体制において、センターへの常駐が求められている3名の職員は、仕様書4に記載のセンター業務時間すべてに駐在しておく必要があるか。	常駐を求める3名の職員については、週5日のフルタイムで勤務すればよく、3名の勤務日・時間を調整してすることで常時最低1名がセンターに駐在する体制をとること。詳細については受託者決定後、京都府との協議において決めることとする。 なお、専門相談員については業務の性質上、火曜日～土曜日を勤務日とし、火曜日～金曜日の終業時間は午後7時とすること。
6	仕様書7人員配置体制の専門相談員及び企業開拓員について、資格以外に期待する能力や求める人材像があれば教示されたい。	本センターは主にキャリアを積んでこられた在職者のキャリアアップを支援することを目的としている。 そのため、専門相談員についてはキャリアコンサルタントとしての相談能力はもち

		<p>ろん、長年キャリアを積んでこられた在職者の相談に対応しうるだけの産業界の動向や、大企業・中小企業における人事の実態に対する知識を備えていること、更には相談者が今後目指したいキャリアの実現に向けての具体的な行動ステップを提案できるような能力を備えていることが期待される。</p> <p>また、企業開拓員については、多くの府内大企業・中小企業においてセンターの活用が進むよう、産業界の他、経済団体、大学等への幅広いネットワークを有することや、ネットワークを築くだけのコミュニケーション能力が期待される。</p> <p>提案書において、配置される人員の能力や人柄、その人員が配置されることでセンターにもたらされる効果などを具体的に記載されたい。</p>
7	仕様書9（2）管理項目※に記載の「令和4年11月末日時点で同プロジェクトアウトカム目標の2／3（53名）を達成すること。」とはどのような意味か。	<p>本事業は厚生労働省資金を得て実施する「府民躍動」きょうとチャレンジプロジェクトの一環として実施するものである関係上、同プロジェクトでアウトカム目標として求められる正社員就職者数（令和4年度80人）の2／3（53名）を11月末日時点において達成する必要がある。</p> <p>なお、上記数値は仕様書9（1）目標数エ「正規雇用に関わった者」の数に含まれるものである。</p>
8	キャリア相談は主に在職者を対象とされているが、在職者以外の相談についても実績としてカウントしてよいか。	在職者以外のキャリア相談についても利用者登録実績としてカウントしてかまわない。
9	今年度のキャリア相談実績を教示されたい。	令和3年8月から令和4年1月までのキャリア相談実績数のべ100件
10	今年度のエクセレント講座参加者数を教示されたい。	<p>本年度エクセレント講座参加者数（会場・オンライン参加の合計）</p> <p>第1回 130名</p> <p>第2回 148名</p> <p>第3回 200名（予定）</p>

1 1	今年度のホームページアクセス件数を教示されたい。	令和3年8月から6ヶ月間のホームページアクセス件数 約6万件 なお、仕様書9（1）目標数ウに定める件数については、センターが所管する京都ジョブパークオンラインセミナー（現行名称）・京都リカレントナビの件数も含めてかまわない。
-----	--------------------------	---